

現在

2020

2025

ターゲット未来

2030

## 1. 今起きていること・未来の兆し

- 将来の社会変化につながりそうな「今」の環境変化や兆候

・IoT、ビッグデータ、人工知能などの技術進展  
・情報発信やモノ・コンテンツづくりの主体の広がり  
・シェアリングエコノミーの普及  
・「コト消費」や「共感」(いいね!)の重視  
・少子高齢化・人生100才時代

…など

## 2. 将来の社会像の予想

- 2025～2030年頃の社会はどのようなものになると想定されるか？(生活・文化、産業、意識、国際関係…)
- その「未来」は人に幸せをもたらすか？正反対の価値がそこに生じていないか？



第1回検討内容

## 4. 将来の知財システムを作るために何をする？

- そのグランドデザインを実現するために、今から何をどう変えるか(制度、規制、プラットフォーム、人材、意識…)
- その中で、誰がどのような役割を担うのか(政府、大企業、中小・ベンチャー企業、大学等、NPO、個人…)



## 3. 将来の価値デザイン

- 将来において、「価値」は何からどのように生まれるようになるのか？
- 新しいビジネスにつながる機会は何か／我が国には何が好機となるのか？
- 「未来」において価値を生むための知的財産システムのグランドデザインはどのようなものか

